

消防・防災のコーナー

ストーブの周囲に紙、衣類などの燃えやすい物を置かない。



火を付けた状態で、移動や給油をしない。
給油後、カートリッジタンクの口金をしっかりと締める。

就寝時・外出時には、完全に消火していることを確認する。

耐震自動消火装置付のものを使用する。

カーテンなどがストーブに接しないように、離して使用する。
ストーブの近くで、洗濯物を干さない。



暖房器具による火災を防ぐため、次のことに注意してください。

暖房器具の取り扱いについて

加東消防からお知らせ



消防の動き

予定

防災とボランティア週間
...1月15日(月)~21日(日)
防災とボランティアの日
...1月17日(水)
婦人防火の集い...1月20日(土)
社小学校・自主防災組織
合同防火訓練 ...1月21日(日)
文化財防火デー ...1月26日(金)

消防団からのお知らせ

加東市ならびに周辺地域において、消防器具庫あらしが発生しています。
最近では、窓ガラスを割って入る強行犯も増えていきます。各地域におかれましても、十分ご注意ください。不審者や不審な車などを見かけたら、迷わず110番通報しましょう。



1月26日は、文化財防火デー

文化財のまわりでは、たき火・喫煙は禁止されています



身近な文化財を大切にしましょう。

「緊急地震速報」について

【気象庁】

「緊急地震速報」は、震源に近い観測点で地震を検知し、直ちに震源や地震の規模(マグニチュード)、各地の震度などを推定し、大きな揺れが迫っていることをお知らせすることを目指す情報です。この情報を聞いて、大きな揺れが始まる前に防災行動をとることにより、地震被害の軽減が期待されます。

しかし、緊急地震速報には情報の提供から大きな揺れが始まるまで、長い場合でも数十秒程度しかなく、

- 1 震源に近いところでは、情報の提供が主要動の到達に間に合わない場合がある
- 2 震源、マグニチュード、震度などの推定の精度が十分でない場合がある
- 3 まれではあるが、ノイズ(雷や事故など)により誤報が発信されるおそれがある

などの技術的な限界があります。

気象庁では、これらの限界を踏まえて、緊急地震速報が地震被害の軽減に有効に活用されるよう、提供開始に向けた準備を進めています。

なお、緊急地震速報の詳細などについては、気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp>)をご覧ください。

問い合わせ 神戸海洋気象台業務課 ☎078-222-8907